

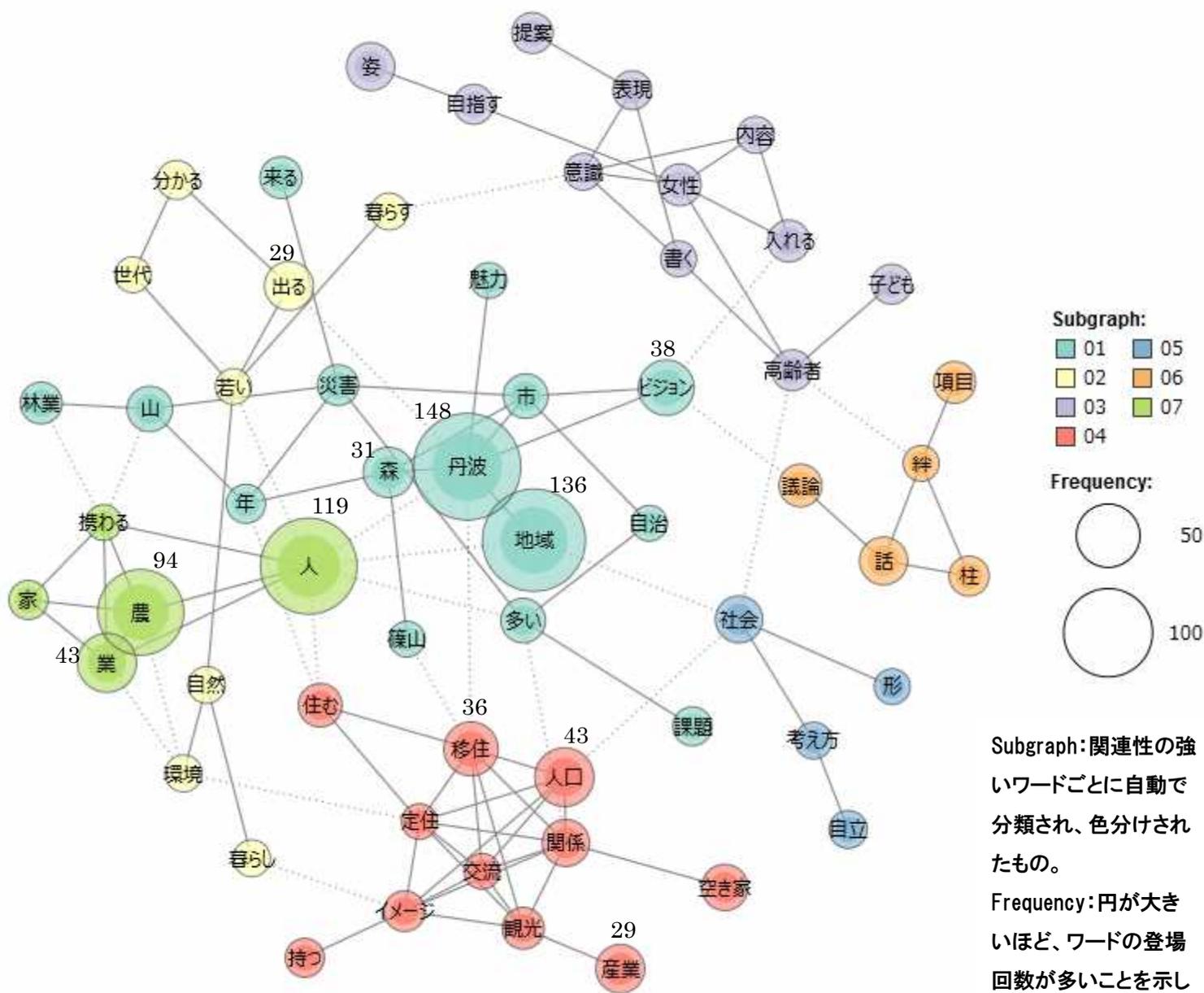
テキストマイニングによる分析結果

●テキストマイニングについて

文章(テキストデータ)の中で、どのようなキーワードが多く出て、相互に関連しているかを分析するための手法。具体的には、樋口耕一立命館大学教授が開発したソフト「KH Coder」を用いて、これまでの新地域ビジョンづくりの課程(「検討委員会・分科会」、「ビジョンを語る会」「ヒアリング」等)で得た意見を集約・分析。抽出語間の関係や強弱を表す「共起ネットワーク図」を作成して、頻出度合いや関係性を見える化した。

令和3年7月

丹波県民局県民交流室



Subgraph: 関連性の強いワードごとに自動で分類され、色分けされたもの。
 Frequency: 円が大きいほど、ワードの登場回数が多いことを示している。頻出上位10ワードにはその登場回数を付記した。

1988年の丹波の森宣言に始まる丹波の森づくりにおいて、「丹波の森」は丹波地域全体を指すことばである。テキストマイニングにおいて「丹波」「地域」が登場回数の上位であることから、丹波での地域づくりの中で「森」は必須のキーワードとなる。
 また、「農」「人」も登場回数が多く、丹波地域の将来を考えるうえで重要なキーワードとなりうる事が分かる。